

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）  
（444）
2. 日時：令和5年1月31日 18時10分～19時30分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

宮本上席安全審査官※、片桐主任安全審査官、秋本安全審査官、  
大塚安全審査官※、小野安全審査官、上田審査チーム員、  
長江技術参与

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）、他10名

原子力事業統括部 担当部長（原子力技術アドバイザー）※、他12名※

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応について」（令和4年3月9日 第70回原子力規制委員会配付資料）に基づき、一部対面で実施した。

## 6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価「想定事故1」「想定事故2」
- （2）泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.1 想定事故1  
（SAE731 r.6.0）
- （3）泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.1 想定事故1  
（SAE731-9 r.6.0）
- （4）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（有効性評価 7.3.1 想定事故1）
- （5）泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 有効性評価 7.3.1 想定事故1
- （6）泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2  
（SAE732 r.6.0）
- （7）泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想

- 定事故2 (SAE732-9 r. 6. 0)
- (8) 泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト (有効性評価 7.3.2 想定事故2)
  - (9) 泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 有効性評価 7.3.2 想定事故2
  - (10) 泊発電所3号炉 柏崎刈羽原子力発電所6号炉及び7号炉の新規制基準適合性審査を通じて得られた技術的知見の反映について

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁アキモトですそれでは本日のヒアリングを開始します。泊発電所3号炉の有効性評価の想定事故1に関係です。それでは説明をお願いします。
0:00:19	はい。北海道電力の青木です。想定事項は2回目のヒアリングということでコメントリストを用意しておりますが、ちょっと説明は割愛させていただきましてパワーポイントを中心にご説明させていただきます。
0:00:31	修正したところを議論してますけども1ページ目は説明を追加しているということになります。2ページ目は目次をつかまして3ページからが想定事故1ということで結論の部分ですけども、2月2日の審査後向けの炉心損傷防止と同様に、評価項目が、
0:00:49	この三つであるということがわかるように①②③というふうには記載を見直しております。
0:00:55	続いて4ページ目ですけども黄色マーカーしてるところですね、原子炉停止後7.5日というのを明確化しております。また薬の使い方がちょっと統一されていないところもありましたので資料上
0:01:07	整合をとる形で修正しております。またピットの名称ですけどもDBの16条側の方で、ちょっと議論があったと思いますけども使用済み燃料ピットPC使用済み燃料ピットということで記載を統一しております。
0:01:21	5ページは、誤記をちょっと修正しております。薬の使い方も適正化しております。
0:01:29	6ページですけども、こちらは、はいそうですね。黄色のところ、追加しております。
0:01:35	7ページお願いします。評価結果の表ですけどもこちら数字、1.6日っていうのがちょっとわかりにくいところで時間を括弧書きで併記する形にして下に断面図追加しまして、
0:01:48	上の表の3.3メートル分の水量がこの部分に該当するというので、記載をみなしております。
0:01:57	8ページは評価結果まとめ基本的の中身は変わらないんですけども結論のところ①②③ということで書き直した関係で全般的にちょっと記載を見直しております。中身は変わりはありません。
0:02:09	9ページ以降が想定事故2ですけども、想定事故1と違うところとしたしましては、12ページをお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:22	こちらの図ですけれども、初期水位を明確化したことと、サイフォンブ レーカー破断位置も破断箇所を明確化してますまた入口配管出口配管と いう記載。
0:02:33	だったんですけども、改めて検討しまして、この冷却系が使用済み燃料 ピット水浄化冷却設備という設備になりますのでその入口配管出口配 管ということで、
0:02:44	従来と逆の表現にはなってしまうんですけどもこの形で統一を図ってお ります。ちょっとパワーポイントすいません文章の中で、1行目の辺り は従来の記載が残っております申し訳ございません。使用済み燃料ピッ ト入口配管であれば、浄化設備、出口配管という形に、
0:03:00	青刻みをさせていただきたいと思います。
0:03:05	その他は想定事故1と同等の修正を図っております15ページから が、
0:03:11	作業手順と評価条件の見直しの
0:03:14	説明資料になっております。こちら記載の適正化を行ってまして16 ページ。
0:03:21	お願いします。
0:03:23	16ページの表の真ん中辺りの黄色いところですね。
0:03:29	ピット水の混合は考慮しないということと、Bピットに発熱の高い燃料 を選択的に所蔵した状態で評価しているというふうに明記してありま す。
0:03:39	また17ページでは、手順の方ですけども、まとめ資料の方と用語が統 一されていなかったところもありましたので今回統一を図っておりま す。
0:03:48	まず初めに冷却機能、S Fピットの冷却機能喪失を判断して、
0:03:56	従来は補給水系保証判断というこ旧跡、
0:04:00	給水ができないというお話から操作すると。
0:04:03	準備入ってことだったんですけども、より判断を早めて、冷却機能喪 失判断後に、
0:04:08	作業会長に、作業手順を
0:04:10	見直しております。
0:04:12	ちょっと駆け足になってしまいましたパワーポイントの説明については 以上となります。
0:04:18	規制庁アキモトですそれでは質疑に入りたいと思います。長井さんどう ぞ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:27	規制庁長江です。
0:04:29	パワーポイントの7ページ。
0:04:34	ちょっと見ていただきたいんですけど一応整理はされてるんですけど、 ここのこの上の表のまとめ方なんですけどね。
0:04:43	一応上、上の表として図が対になってて、
0:04:49	その下の図だと
0:04:52	この630立米ですか、この630立米が水位低下時間ということで、32.8 時間って書かれてるんですけど、
0:05:03	ここでもう一つね上の表とちょっと乖離があるところが、上の表の④の 水温100℃までの時間、約6.6時間ってというのが、
0:05:14	これが下の図である、
0:05:18	630立米の100℃になるまでの時間じゃなくて、Bピット、能、
0:05:25	水量、Bピットだけにある水量に対して、ビビッドに崩壊熱の高い燃料 びっしり。
0:05:33	詰めたときにBピットだけが、100℃2なる時間が6.6時間ですよって いうそういう理解してるんですけど。
0:05:44	まずそれよろしいですか。
0:05:46	はい、おっしゃる通りです。
0:05:48	そこをきちんと書かないと、
0:05:52	今書かれてる
0:05:55	②とかマル2と③ですよね要はこの②とか③の③の時間ってというのは、
0:06:04	100℃になった630立米の水が、蒸気に蒸気になって蒸発するっていう 時間が32.8時間ですよっていうそういうこと。
0:06:15	なんですね。そこが、この中で書ききれてないので、
0:06:21	ちょっと
0:06:23	③と、表の③と④の成り立ちが違うということを
0:06:30	前のところではここ解析状況のところ書かれているのでそれがわかる ように
0:06:34	書いていただければいいのかなと。
0:06:37	後の方に出てくる10何ページですか13ページでしたっけ。
0:06:42	13ページの方の、こっちの方も同じ。
0:06:46	同じですよ基本的にはね。
0:06:48	ちょっと素行が、まず、
0:06:51	1点。
0:06:52	ですけどよろしいですか。はい。青木です。承知いたしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:57	あとこれも 16 ページ 16 ページのところなんです作業のところの話で、
0:07:06	これはまず、ちょっと審査に直接関係するかどうかわからないんですけど、運用に近い強いかなと思うんですけど、
0:07:14	従前ピットに入れてたじゃないですか。
0:07:18	今度はBピットに入れることにして、基本的にはBピットを一応有効性評価の
0:07:28	前提にしたってということで、基本的な運用としてはね。
0:07:32	Bピット等に、まずは入れるんだってというのが、
0:07:37	何ていうんすかね基本的な考え方になんて、その考え方としては
0:07:43	Bピットにまず入れるんだっていう、
0:07:46	のが、何らかの形で
0:07:49	運転管理とか何とかについてはねどういうふうにお考えになってるのかっていうそれをちょっとお伺いしたかったんですけど。
0:07:57	はい。北海道電力の青木です。従来からの燃料、
0:08:01	取り出し直後の崩壊熱が高い燃料については次サイクルで装荷する燃料が大半ですので、
0:08:09	近いピットということでBピットに調査をしました。ただそれについては何か、社内のマニュアルで定めたものではなくて、実際に作業性の観点からそういうふうにしておりましたが、今後社内の
0:08:20	マニュアルの中で、そういう制限、
0:08:24	そういう条件を設けることで考えていきたいと思っております。
0:08:29	規制庁の長井です
0:08:31	ちょっとまずそこの関係で保安規定とかまで、
0:08:38	管理事項としてはこう入ったり、どうすんだっていうのがあり得るのかなというふうにちょっと思いましたので、そういうコメントです。
0:08:56	ああ。
0:08:57	規制庁長瀬私が以上です。
0:09:01	規制庁秋本です今の関連だと、
0:09:05	あれなんすかね。テンジウ場って、どうやって縛るんですか、何かイメージってあります。
0:09:13	はい青木ですけど。10条はあくまで、このまとめ資料がそのままテンジウに行くっていうことになりまして、あとは本文の方、本文10号の方で、崩壊熱量が出てくるんですけども、ちょっとその条件までどう書くかってのは、ちょっと検討しきれてないところがあります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:32	規制庁アキモトですと、確かあれですね、停止時の方で、何でしたっけ ドア閉める閉めないとかで、
0:09:42	保安規定に、
0:09:44	縛りますっていうのを何か先行でやってたような気がしたんですけど。
0:09:49	それって何か。
0:09:51	それが何かかんなんか、あれイメージになるのかなあとかちょっと思っ てたんですけど、有効性側からの要求で、
0:10:02	縛るっていうのを、
0:10:04	何かイメージあるのかなっていうのを、
0:10:12	はい。芝田です有効性というか、
0:10:16	そうですね。運用を縛るっていうのを厳密にやろうと考えるとやはり保 安規定というふうなことになるかなと思います。
0:10:25	規制庁アキモトだからそれを許可上でどう引き渡すっていうことなんで すけど、許可との整合性とかで見れるじゃないですか。
0:10:36	だから、どこに書くかっていうのを、なんかちょっと、
0:10:40	頭の体操だけなんですけど、
0:10:42	何かできることが、
0:10:44	やってると思うんで、きっとどっかで、何かあると思うんで、ちょっと それを頭の体操をしないともらえばいいかなと思うんで、別にこれ、何 でも、刺激でも何でもないので、
0:10:57	我々としては、評価にしっかりとして条件を書くことによって訴訟評価 条件を守らなければいけないというふうなことで、社内運用で縛ると
0:11:07	先ほど青木も言った通り実態としては灯油ピットに取り出し燃料を持っ ていくっていうふうなことはしないので、主芝、
0:11:17	にかかわらず、実態としてもそういったことは運用としてはしてないとい うふうな状況。
0:11:22	規制庁が決めてそれはあれですけど技術的には可能っていう理解でいい ですか。はい社内規定等で縛らなかつたら技術的にはオープンに持って くってことは可能というふうな状況です。
0:11:34	規制庁脇本にそれで、何他のやつと違って、やんなきゃいけないかって いうふうなことを考えると、きっと高 40 度とか、は、
0:11:47	何て言ったらいいでしょ。
0:11:51	通常実がペースベストエスティメント能値を持ってきてます保安規定値 はこう高いです。でもじゃなんでそれで 40 で縛らないんですかってい う話は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:01	きっと不確かさを含めてもう大丈夫だからよくて、だけどこれって、
0:12:08	不確かさを含めて例えば移動しちゃったってなるとアウトだから、縛らなきゃいけないねっていう議論になると思うんで、
0:12:16	麻生他のものとの関連をちょっと考えつつ、
0:12:21	やっていかなきゃいけないなっていうのはちょっと私の感想でだけど、何ていうんでしょう。
0:12:28	そんな感じかななんて思いつつですね、ちょっと独り言ですけど、それであれですね、あともう1個パワーポあるじゃないですか。こっちって、同じだから、別に説明をする気は。
0:12:42	内容みたいな感じで良いですかね。
0:12:46	はい。大きいですけども一応それは説明させていただきたいと思ってますんでこのままよろしいですか。はい。ありがとうございます。資料9をお願いいたします。いわゆるKK6のバックフィットと言われるものですけれども、今回想定事項、我々が説明してきた手順とか見直しの関係ですので、
0:13:04	後説明させていただきます。2ページは規則の話が書いておりまして、三つ、バックフィットの対象でしたが(2)番が今回の御所御説明の対象になるということです。
0:13:16	各3ページに行きまして、こちらですけれども我々の考え方となります。
0:13:21	技術的能力1. 11の
0:13:25	ガイド、基準、審査基準ですね、の改正改正後のところですけどもここに新設でさ、記載がされまして想定事故1及び想定事故2が発生した場合において発生する水蒸気が、
0:13:38	重大事故等対処設備に悪影響を及ぼす可能性がある場合は、当該悪影響を防止するために必要な手順等を整備することというのを追記されております。
0:13:46	これに対して、右側の検討の欄ですけれども、使用済み燃料ピットを設置している燃料取扱棟は、周辺の建屋で区画されていることから、SF P、
0:13:56	主にピットから発生した水蒸気の影響範囲という、というのは燃料取扱棟内に限定されると。
0:14:04	また燃料取扱棟に設置されているSA設備は、SFピット監視設備ですけれども、従前から、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:10	高温及び高湿度の環境での収容も耐えられる構造及び環境条件で、設計することとしているということで蒸気の影響は受けないと。
0:14:19	さらにといふところですけども想定事故1の有効性評価においてS Aピット水が沸騰状態となる前に注水準備が完了するよう、
0:14:26	作業手順及び評価条件を見直すことにより、水蒸気の発生を抑制でき、短時間に大量の水蒸気が発生する状況にはないと。
0:14:34	発生しても問題ないということの説明してるんですけどさらに、そもそも水蒸気が発生しないように、今回手順とか、評価条件を見直したというのが、今回見直した背景の一部になっております。
0:14:47	この対策、対応については、右上に大飯34号炉と同様と記載しておりますが先行PWRと、すべての先行PWRと同様の対応となっております。
0:14:57	4ページ以降は先ほどご説明させていただき措置事項の資料と一緒にですので割愛させていただきまして最後7ページ、8ページですね。
0:15:06	8ページに参考資料ということでFHB、燃料取扱棟の配置について説明しております。
0:15:12	ちょっと資料に動きがありまして申し訳ありません。断面図のところですけども、SFピットを水色で表現してるんですがちょっとこれ、
0:15:21	燃料取扱棟の上に浮いてる形になってしまっております孟子はございませんこれ、下に、
0:15:26	埋め込まれた形で、もうちょっと下、下側に移動するといえますか。
0:15:30	ピットですので、ちょっとここは直したいなというふうに思っております。
0:15:34	ここに記載してる通り、使用済み燃料ピットが配置されている建屋、燃料取扱棟というのは他の区画と、他の建屋の部分と区画化されておまして、状況回り込まないというふうに考えております。
0:15:47	説明については以上です。
0:15:51	規制庁脇本ですそれでは室、これについても質疑応答なんですけど、永井さん、いかがですか。
0:15:59	長井です。
0:16:01	8ページ一番最後のページのね、
0:16:06	右の方にBWRの例でMARK-I改の
0:16:09	翁長若菜の回転数を原子炉、
0:16:12	格納容器で赤いやつが書いておそらくこの
0:16:16	圧力容器をもっと小さくして書くつもりが何かわからないけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:20	格納容器と書いちゃって、赤い、あれを付けたんだと思うんですけど、もし、
0:16:27	のけるんであればちゃんとした、
0:16:30	もう圧力容器の下部の部分から随分ちっちゃいので、直していただいて、
0:16:36	本質的にビーアールがこの
0:16:39	議論の中で必要かどうかっていうのはなCなんで、ちょっと削除するっていう考え方もあるのかなと思うんで、
0:16:47	ちょっと修正いただけますかね。
0:16:49	はい、大木ですはい、おっしゃる通りで申し訳ございませんPWRと原子炉容器を表現したつもりだったんですけどもちょっと大き過ぎました。申し訳ありません。ただこれ先行PWRなんて、この資料付けてるんですけどおっしゃる通り、今ここでBWRの例を乗っける意味もないと思いますので、削除する方向で考えたいと。
0:17:06	供給、
0:17:08	どうぞ。蒸気を回り込むっていうふうな観点の比較としてつけたんですけども原子炉容器
0:17:17	がいるかって言われるとそうでもないような気がしますけど、ちょっといずれにしても、
0:17:23	このまま出せないんで、原子炉容器。
0:17:35	左側の
0:17:38	BWR見ていただくと、
0:17:41	これとの対比というのでちょっと、
0:17:43	でかすぎる。
0:17:45	状況ですので訂正したいと思います。
0:17:56	以上です。はい。
0:18:14	規制庁秋本です。はい。それと、一応なんですけどパワポのそのタイトルなんですけど、
0:18:22	ちょっと
0:18:25	何て言うんでしょう、名和田井を荒らすじゃないですけどできる限り
0:18:30	何を言わんとしているのか、何を説明しようとしているのかっていうのはタイトルに書いて欲しくて、これって、技術的知見っていうのは理解しますと、正しい中身は、
0:18:41	SFPに限定してるんですけどっていうことなんで、
0:18:44	ちょっとそれがわかるように、例えばですけど括弧で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:48	何ていうんですか、SAPのことっていうのがわかるようにして、
0:18:54	おいて欲しいなとは思いますが、いかがですか。
0:19:00	はい。青木です。おっしゃる通りだと思ってたんですけどこれってちょっと社内にちょっと質問なんですけど、これこれ単独でかけることになる、なるんですが他の(1)(3)とご説明したとどっか進行するイメージだったんですけど、
0:19:14	ちょっと大きなイメージが違ったのかな。
0:19:44	はい。大城です。はい、かしこまりましたこれ単独でわかるように、タイトルの方で、主
0:19:51	(2)の技術的能力の1.1、11に対応する資料だということを明記したいと思います。
0:20:33	規制庁、小野です。最初の方のパワポの想定事故1と想定事故2でちょっと、
0:20:40	わからないので教えていただきたいんですけども8ページで、
0:20:45	評価結果のまとめで、①と②については、前のページまで説明してきた通り、水が蒸発してって、減って、水位に対してその時間とか水の高さに対して、余裕がありますっていうそのメルクマールの1.62。
0:21:03	それに対して5.7時間がありますって書いて、003がちょっとよくわからなくなってしまって、まとめ資料見ると、
0:21:12	実効増倍率の1、
0:21:14	よりも保守的に0.98に対して0.97だから大丈夫ですっていうふうなやつなので何か少しその、
0:21:22	0.97基準値の0.98よりも下回って大丈夫ですとかなんか、1土佐一度に同じように書き方を少し合わせたほうがわかりやすいのかなということと、
0:21:32	あと丸さんの評価っていうのは、
0:21:35	これはあれなんですかね、沸騰した状態で何か考えていて水とかは関係ないとかさ、そういうことなんですか、どういう評価をしてるのかちょっとわからなかったんで、
0:21:46	教えていただけたらと思います。はい。青木ですけどもこちらSAの54条の補足説明資料の方に詳細が記載されているんですけどもちょっと今回は申し訳ござい付けておりませんが、
0:21:59	評価が厳しくなるように、仮に純粹にミスされた状態でもこれで大丈夫ですっていうのとあと水密度といたしまして0から1まで振っていただいて水が全くない状態から水が

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:11	ある状態までを振った状態で一番厳しくなる状態でも、この0.97でおさまるっていう評価になっております。
0:22:19	町的那須医師わかりましたそうするとなんか前でこう説明してきた許斐水野工場発とかその推移とは少し関係ないってことをちょっと評価。
0:22:30	別ですってということと理解しました。はい、青木ですおっしゃる通りでして想定事故と直接リンクする条件でやっているものではないということです。
0:22:53	市長承知いたしました。ありがとうございます。
0:24:04	規制庁秋本です。あとは、まとめ資料の方は、どう、どうしますか。
0:24:11	はい、青木です。こちらはちょっとコメントリストに従って数件ですので、ご説明させていただきたいと思えますけどもよろしいでしょうか。
0:24:17	はい。資料、
0:24:20	2-3ですね、想定事故1のヒアリングコメント回答リストをお手元をお願いしますこちら前半の方がパワーポイントでして、
0:24:29	13番ですね6分の3ページ。
0:24:33	の13番。
0:24:36	お願いします。はい。こちらですけども、女川の記載に合わせられないかというところですか。比較表でいきますと、
0:24:43	資料2-2の、想定事故1の比較表ですけども、11ページ、
0:24:51	お願いいたします。
0:24:56	こちらの女川の記載で上から2行目のところの上3行ですか、主初期条件の燃料プール水温はってことで、最確条件は27から43度であり、この辺を反映できないかというご指摘をいただいておりますコメントいただいておりますけども、ちょっと改めて検討したんですけども、やはり
0:25:14	泊3号機2サイクルしかちょっと運転しないということで実績も少なくですね、やはり添付書類10にちょっと数字をかけても、抵抗がありまして、可能な限り女川の工場取り入れるということでこのような考えてみました。
0:25:29	評価条件の事情に対して最確条件は装荷炉心ごとに異なり、こちら添付資料の方の不確かさの資料とも整合する形で書いておりますけども、装荷炉心ごとにやはり水温という、
0:25:40	のは燃料の状態によって変わってきますので、
0:25:43	それによって評価条件の不確かさとして、最確条件をした場合は変動しますけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:50	運転員等操作時間に与える影響はないということで、可能な限り女川の交付に合わせた形で記載しております。
0:25:56	こちらについては以上です。
0:25:59	はい。続きましてコメントリスト 14 番ですけれども、
0:26:05	想定時間が想定、操作時間が想定より短い時間で完了する具体的な理由について記載することということで、こちらちょっとわかりづらくて申し訳ありませんが 15 ページ比較表 15 ページです。
0:26:21	泊欄の（エ）運転員等操作時間に与える影響ということで、可搬型大型送水ポンプ車による注水操作はそれは短い時間で完了するってふうに記載したんですけども、具体的に、
0:26:33	黄色マーカーできて追記しております。アクセスルート復旧作業及び注水準備操作が想定より短い時間で完了することで、操作時間開始時間が早まる可能性があることから、
0:26:43	運転員等操作時間に対する余裕は大きくなるということで具体的に書かせていただきました。
0:26:49	はい。続きましてコメントリスト 15 番ですけれども。そうですね。こちら初期条件について潜航並び、記載を検討することということで、比較表の 6 ページをお願いします。
0:27:06	比較表 6 ページ真ん中の部分ですね、女川が初期水位水温崩壊熱を記載することに対して、検討しなさいということで検討させていただきました。もともと水は書いておりましたので括弧 B として水温を別項目に設けまして、
0:27:21	括弧 C に崩壊熱の記載をしたと。こちらの記載については大井と同様の記載となっておりますので表の形で、後ろの表の形で、これはもともと記載しておりましたが、
0:27:33	この文章には本部の方に入らなかったもので表とする形で記載しております。あと追加で女川の方には直崩壊熱に相当するって一番下の 2 行ですね、蒸発量も記載されておりましたのでもともと PWR と表にしかちよつかさ、
0:27:47	いなくてわかりづらかったところもありましたので、こちら文章の方に明記する形で反映しております。
0:27:54	続きまして、コメントリスト 16 番、
0:27:58	は全般化中 67。
0:28:02	17、2 体についてはのタイムチャート。
0:28:06	の記載が、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:08	わかるようにちょっと記載を検討しなさいということで、ちょっと比較表だと。
0:28:13	見づらいんですけどもタイムチャート。
0:28:16	27ページの、
0:28:26	右上の備考のところですね、
0:28:29	書かせていただきました。
0:28:31	で、ちょっとまとめ資料で言いますと、
0:28:36	7.3. 1-24 ページ、こちらの方がちょっと大きいのでこちらで、
0:28:42	読ませていただきますけども、
0:28:45	すみません比較表ではなくてまとめ資料の方のタイムチャートですね、24 ページ。
0:28:51	この 80 分の補給水系故障判断という、矢印で書いて、3 角で表現してる ところに対して右上の備考で表現しております通常運転時に使用済み燃 料ピットへの補給機能として期待している、燃取ピット及び二次系純水 系統からの注水機能喪失を確認した場合、
0:29:11	補給水系故障と判断すると。
0:29:13	これに対して括弧書きで想定事故 1 の方は、中央制御室への使用済み燃 料ピット冷却機能回復操作実施後に注水準備等開始ということで、
0:29:24	タイムチャートで言いますと、グレーになっている、作業手順の一番上 ですかね、ところの運転
0:29:33	が、中央制御室で行う使用済み燃料ピット冷却回復操作、
0:29:38	失敗原因調査のこの 5 分があるので想定事故 1 の方が長くなっている ところを、この文章で表現してちょっと想定事故 1 の方に想定事 項 2 と比べてっていうのちょっと書きづらかったものですので、
0:29:50	そういうふうに書きまして想定事故 2 の方にはこの括弧分けない形で約 75 分。
0:29:55	この 5 分の差が、
0:29:58	給水系故障判断の時間が異なっているということをちょっと表現して、
0:30:02	明記させていただきました。
0:30:05	従来は補給水系故障判断の後に作業が所ありますのでちょっと意味ある 数字だったんすよとなつては冷却機能ソース最初の 10 分の冷却機能卒 判断でいろいろ作業を開始していく関係もあつてちょっと今にとっては そんなに
0:30:19	何か栗城になつてる数字ではないんですけども、わかる形で記載させ ていただきました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:25	続きましてコメントNo.
0:30:28	10、今10名中17まで行きましたので、
0:30:33	結構ある。
0:30:35	18ですね、18、未臨界の話です。比較表の8ページをお願いします。
0:30:42	うん。違う。
0:30:43	9ページ、すみません。9ページになります。
0:30:51	8ページ、下のさ、下4行です、のところにあった赤字に対して、大井がエリア0点。
0:30:59	953、Bエリアで0.970、それに対して泊が約0.9701しか書いてないことに対して、9ページの方で、そういう理由欄で記載しております。大井のSFPトラックは、
0:31:12	エリアがステンレス校正ラック、Bエリアがボロンを添加したとN-S構成の稠密ラックであり、設計が異なることから、両エリアの評価結果を示していますと。
0:31:21	積立泊は両ピットとも、ボロン添加ステンレス構成ラックであるため、評価結果が厳しくなる燃料貯蔵体数が多い、使用済み燃料ピットの評価結果のみを示しておりますということで、
0:31:32	記載させていただきました。
0:31:35	想定事故2の方も同様の対応を行っております。続きまして、コメントリスト。
0:31:43	本文側は以上ですかね。比較表、添付資料の方ですけども、7.3. 1.2と、
0:31:51	いう。
0:31:53	添付資料。
0:31:54	の1ページ目に、
0:31:56	なります。
0:32:01	7.3. 1.2-1ですけども右側に運用の相違ということで赤字で記載しておりましたが、これと同じ運用となっている先行実績があるのか確認することというコメントでした。
0:32:14	赤、記載しておりますが、PWRプラントでもピットの構造が各々異なるということで泊と同じような構造がですね、伊方が比較的近いということで、それを調べた限り、
0:32:26	はですね、運転中は、キャナルまたは燃料検査ピットのどちらかの水を抜く運用としているということで泊とは全く一緒ではないんですけども、すべてのピットを抜くというような運用にはしてない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:36	ということではいたような運用なのかなというふうに考えます。
0:32:42	はい。こちらについては以上でして、続きまして、
0:32:47	30、
0:32:49	この添付資料の 39 ページ。
0:32:54	コメントリストでいうと、20 番ですけども、
0:32:58	39 ページの、
0:33:01	すいません 38 ページですね。
0:33:03	38 ページの参考 4 というところで
0:33:06	口径を外径に、
0:33:08	重量を質量に記載の適正化を行っております。確認した結果こちらが正しいということで適正化を行いました。
0:33:16	あとはコメントリストで言いますと、
0:33:20	以上ですかね。20、21 番下、申し訳ない 21 番のちょっと飛ばしてしまいましたけど、先ほどのまとめ資料の本体の方のタイムチャートの方で、可搬型を送水ポンプ車に、
0:33:31	一緒にというのを記載しておりましたが、
0:33:33	2 台記す場合は B で表現したんですけども想定事故 12 では 1 台しか使用しないということで、可搬型送水ポンプ車 A というのを削除した。
0:33:44	タイムチャートとして修正しております。
0:33:48	あとコメントリスト最後に 12 番ですけども全般的に、添付資料図表番号入っておりませんでしたので、この今見、先ほどご説明しました 7.3. 1.2 で、
0:33:59	もう見ていただけるとわかると思いますけども、様々な図のところに、図表。
0:34:04	の番号とタイトルを追加しております。
0:34:08	想定事故 1 のコメントリスト。
0:34:11	コメント回答率については以上です。
0:34:22	規制庁の木本です。コメント R I S 等に関しては 1 点だけなんですけど、6 分の 4 ページで、
0:34:34	14 番なんですけど、これは、
0:34:39	あれなんです、記載がちょっと。
0:34:41	都道。
0:34:44	15 ページ。
0:34:47	ですね、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:53	アクセスルートの復旧作業及び注水操作が想定よりも短い間時間で完了することで早まる可能性があるか、いいのか。
0:35:08	構文的には女川と似たような感じは、
0:35:13	書いていて、じゃあ、実際にはあれなんですか。
0:35:18	アクセスルートの復旧作業とか注水槽、準備操作って、
0:35:23	何ていうんでしょう。
0:35:24	あれ、訓練実績からすると、大分保守的に見積もってるんですけど。
0:35:30	はい大木です。具体的な数字等含めて発電所の方から回答をお願いしてもよろしいですか。
0:35:39	北海道電力古谷です本店からよろしいでしょうか。
0:35:44	はい。お願いします。
0:35:46	はい注水時間についてですけども、
0:35:51	180分という想定時間なんですけれども、訓練実績等では145分ということで35分の余裕があります。
0:36:04	アクセスルートについては、
0:36:06	2時間40分というサッキウ想定時間を考えておりました、
0:36:12	復旧の評価、評価した結果については、
0:36:17	2時間25分、ということで15分の余裕がございます。説明以上です。
0:36:45	はい大城ですけども。
0:36:47	2時間40分アクセスルート復旧時間を待ってからそのさ、その3時間後に作業するってことで、本店よろしいですよ。
0:36:56	はい北海道電力古屋ですその通りです。
0:37:02	規制庁秋本です。わかりましたじゃ実績を鑑みれば早くなることがあり得ると。はい。ということは理解しました。はい。
0:37:14	それで、個別でもいい。
0:37:18	確認なんですけど、本文の3、ごめんなさい比較表で3ページで、
0:37:27	そうすると、Cポツの使用済み燃料ピット補給水系の故障の判断ですけど、一応これはやるっていう理解で。
0:37:39	いいんですかね。
0:37:42	はい青木ですけどもこれを判断し、
0:37:46	力は行う、行うと思っておりますけど、本店よろしいですか。
0:37:55	はい。北海道電力古谷です。使用済み燃料ピット補給水系の構想を判断しまして、
0:38:02	アクセスルート復旧した後にその送水ポンプ車で屋外作業を開始するということで判断をいたします。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:14	大木ですけど、今となつてはこれを聞くに何か作業を開始するっていうものではないっていう理解でいいんですけど。
0:38:22	北海道電力古屋です技術的能力 1.11 の海水を用いた送水ポンプ車による注水手段の手順着手の判断にも記載してございますけれども、
0:38:35	冷却機能と注水機能の江藤細尾を判断して、注水作業を変え、準備を開始するという手順になっています。
0:38:45	可搬型の S F P の計測装置については、冷却機能喪失した直後、冷却機能喪失を判断してすぐ、
0:38:57	準備を開始するという手順にしております。以上です。
0:39:17	規制庁沖本です。今はあれですかねフローチャートだと、フローだと、
0:39:26	まとめ資料の 23 ページ今見てるんですけど、
0:39:30	これはあれなんですかね
0:39:34	準備。
0:39:37	準備。
0:39:40	なんでしたっけ注水準備は特に苦勞では、
0:39:47	書いてないっていう理解なんでしょうけど、ここに書いてあるんでしょうけど、
0:39:53	注水ソース、注水準備にアタックしますみたいなのは、フローでは書いてないということなんでしょうけど。
0:40:06	衛藤大木ですけども、お願いします。
0:40:09	北海道三国梅田です。
0:40:12	そうですねあの表現自体は中枢となってしまってるんですけど、その注水の中に住民も含んだということを、いして、このフローの形となっております。
0:40:25	以上となります。
0:40:47	規制庁アキモトでそれであれですね注水の準備。
0:40:54	すに向かうことが一。
0:40:58	今ってあれなんですよね行方、女川で言うという比較表の 3 ページの b ポツで、
0:41:06	女川だと
0:41:08	注水準備を行うってあるじゃないですか。これが、
0:41:14	言いたい、どこに該当するんだらうっていうのが、
0:41:21	わかるようになってますかね。
0:42:01	北海道電力梅田です。ご指摘の通り、準備というのはなかなかもう、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:09	人事システムに対して準備というのは、水だ表現になってるのは確かかと思われませんが住民も含んで注水という、先ほどの風評議案用いていると申しましたけど、
0:42:21	具体的に文Bというのはちょっと見えにくい表現になっていることを思います。
0:42:27	以上となります。
0:42:29	規制庁脇本です。それでは、ちょっと検討していただきたいんですけど
0:42:35	この女川で言っている、この注水準備を行うってところが、泊って いうと、どこに、
0:42:44	なるのかっていうと、
0:42:47	冷却器、エポⅡの段階でもう判断したら、注水準備を行うってこと だったらあれですよある意味、
0:42:57	一緒っていう理解でいいんですかね。
0:43:10	青木ですけども、梅田さんよろしいですか。
0:43:13	今泊では、ポツの冷却機能ソースのところには既設の燃取ピットからと か二次系純水からの注水準備を行うという記載がないんですけどもそう いうことを書くことは可能なんでしょうか。
0:43:29	北海道電力梅田です。そうですね準備を徹底準備して参りますけど、一 番優先順位の高いにその年に取替用水ピットですとか、
0:43:40	二次系純水系統からの注水準備というのは、この冷却機能喪失判断の時 点で、
0:43:46	着手して参りますので、記載が可能と考えます。
0:43:51	以上となります。
0:45:03	規制庁秋本です私のちょっと気になってたところは、いつ準備に行くの ってところだけなので、一応タイムチャート見ればわかるじゃ分か るけど、
0:45:15	わかるけれどもあれなんですよねタイムチャートって復旧のその時間が 空欄だから、想像しなきゃいけないくて、
0:45:24	じゃあ、いつからなのってところがちょっとよくわかんないんでや っぱりちょっと帰って明示してもらうことをちょっと検討していただ ければと思います。
0:45:34	はい。青木です。記載する方向で検討したいと思います。
0:45:43	規制庁アキモトでそれで、7ページのところなんですけど、
0:45:54	dポツのところのdポツ括弧Aですね、の一番最後のところなんですけど、 事象発生約6.6時間後から開始するか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:05	この薬っていうのはいるのか要らないのか。
0:46:10	はい。青木です。こちら薬が入ります。嶋でも確認したんですけどしまいと同様でしてやはり沸騰開始が約 6.6 時間後ですので、注水会社も約 6.6 時間後となります。
0:46:40	規制庁アキモトでそれで
0:46:43	と。
0:46:46	と余裕時間のところなんですけど、
0:46:51	戸田 13 ページで、今スロッシングノーことは触れてはくれてい。
0:46:59	いて、
0:47:02	約 0.1 日短いよってということなんですけど、
0:47:07	あれです 100℃到達の方で、
0:47:10	スロッシングとの組み合わせの評価って何か添付資料とかついているんですけど。
0:47:18	はい。青木ですけども、
0:47:22	水温確かにスロッシングを受けることによって水量が減りますので、沸騰開始時間も若干短くなると思いますけれども、ちょっとその辺り記載はないかもしれません。ちょっと今すぐ即答できないですね。
0:47:34	規制庁の木本でその時ってあれなんですけど、結局、あんまり変わらないっていうか同じだと思うんで、0.1 日ぐらい短くなっちゃうような感じで考えちゃっていいですかね。
0:47:48	はい。青木ですけども、沸騰時間までの評価はですね、ピット全体の水量を使って、
0:47:59	評価しておりますので、
0:48:04	は、
0:48:06	敗訴そうなんですよねちょっとまた何とも言えない。
0:48:32	規制庁アキモトです。だからあれ、スロッシングで基本考えているんその 100℃到達時間、
0:48:44	が青木さんの言った評価項目に対しての余裕時間を見るんですっていうのは
0:48:52	わからなくもないんですが、日英とKKのバックフィットを受ける等、100℃到達時間のために、作業手順を見直してやっいて、
0:49:04	るにもかかわらず、
0:49:06	素行 2、その余裕時間の観点をちょっと考えると、スロッシングを含めるとかなり厳しい時間になっちゃうと思ったんですけど、そこはどう考えてますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:19	はい青木です想定事故1に関してはもともと6.6時間に対して5.7時間ですし、様々な余裕を積んでる数字ですので、余裕あると思ってますけど想定事項については5.8時間、
0:49:33	ちょっと5.8時間に対して今5.7時間ですので、正直余裕は小さいということは認識しておりますさらにそれをやる心を重ね合わせる等、
0:49:43	と思ったんですけどもすいません想定事故2はですね、配管破断を想定しておりますして、スロッシングで低下する量よりも、配管破断で水位が低下するほうが大きいので、そこまでは考えなくてもいいのかなというふうに考えております。
0:50:02	規制庁秋元です。わかりました。そういう意味ではだから、スロッシングを考えるとすると、想定事故一位の方が効いてくるっていうのは確かに高い方がそれはいっぱい出ますよねっていうのはそりゃそうだと思うんです。
0:50:16	わかりました。
0:50:19	何かあれですかねちょっとその100℃到達時間に対する、
0:50:26	スロッシングを組み合わせた場合、
0:50:28	もう、
0:50:31	どうなん問題ないよっていうことがいえるのかどうかっていうのは、ちょっと検討してもらってもいいですか。はい。青木です。問題ないとは思っておりますけどもそこなんか明記いけるような形で検討したいと思います。
0:50:48	規制庁秋本です。わかりましたそれであれなんですよ。日スロッシングはそれでわかったとして、ピットの状態で、その次の場で、
0:51:02	チャンネルとかを接続したときって、もっと早くなるんですよ。
0:51:08	これ。
0:51:10	これが、
0:51:11	またさらに、この不確かさを積むとどういうことになっちゃうんだろうっていうのを、
0:51:19	これはあれですよ評価項目に対しては十分余裕があるっていうのは、その通りかなと思うんですけど、100度っていう観点からすると、
0:51:30	組み合わせる必要があるのかって言われたら、
0:51:33	どうなんだろうっていう気もしないでもないですけど、だけど、
0:51:38	それも含めた、
0:51:42	余裕時間を説明するのカー、もしくは、
0:51:47	ピットに近づく乗って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:51	そんなに長い時間じゃないし、100度の影響ってそんなに受けないんですってという説明をするのか、っていうところはあるのかもしれないって いうふうに考え、
0:52:03	てはいるんですが正しいそれって、先行PWRと方針がずれるんで、
0:52:10	ちゃんとした議論が必要かなとは思ってるんですけど。
0:52:14	100℃を守んなきゃいけないって考えているのかどうかちょっとよく わかんなくて、何ていうんでしょう。
0:52:22	PWRは先行Pわあ、100度より早いからいいでしょうっていう戦略で すけど。
0:52:28	不確かさを踏まえてもう超えちゃいますけど、でも大丈夫ですけどね、 僕らっていうかどうか、なんですよ。
0:52:36	そこって何か戦略あります。
0:52:40	そこはやはり
0:52:42	さらに100度超えると防具とかその作業性の説明というふうになると必 ず論点というふうになると思ってますんで、我々としては基本的な戦略 としては100増。
0:52:52	前に、
0:52:55	なんでちょっと不確かさ。
0:52:58	のを議論を踏まえると、もうちょっと工夫が必要かなというふうには考 えます。
0:54:10	規制庁アキモトでそれであとはあれですかね作業時間の保守的に見積も っているとは思っては、理解はしてさっきのアクセスルートの復旧 作業とか、
0:54:20	は、
0:54:23	どんだけずれるのかわかんないですけど、そこって何か。
0:54:27	全くゼロにするっていう可能性もあったりするんですか。
0:55:17	規制庁秋本ですわかりなんか1人で考えたら理解しました。はい。
0:55:23	それであと智美もうちょいますけどすみません。はい。
0:55:29	あまりゆっくりやるつもりはないんですけど、17ページなんですけど、
0:55:39	ここの(1)の必要の要員のところちょっと最近気づいて、また事情発 生3時間合意、3時間以降に二名で発電所が二名ですって、
0:55:52	言ってるじゃないですか。
0:55:54	2に対して2で、これ先行でそんなことをやっていますかねそんな乱暴な って言い方しちゃいけないんですけど。
0:56:01	一応、系統等に私も

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:07	見ましたと改めて見たところ、
0:56:10	こんな何すか、ツルツルいっぱいじゃないですけど、になってなくて、本当にあれなんすかね3時間以内に参集可能な人って2人だけなんですか。
0:56:21	実際、
0:56:22	はい。大きいですけども本店の方からお願いします。
0:56:27	はい。北海道電力古谷でございます。
0:56:31	この3時間以降、新居衛藤さん所要員を確保して、対応するのは給油作業になるんですけども、
0:56:42	給油作業に必要な要員二名を、
0:56:47	確実に発電所の方に参集できるように、
0:56:53	3時間以内で参集できる宮丘地区っていう
0:56:59	社宅分がある近くのところにすいません、規制庁アキモトです
0:57:05	そっかそこに何人いるとかかそういう話ですか。
0:57:09	そこに拘束して、必ず二名を確保できるようにする運用を考えておりました、それは技術的能力の1.0の方の資料に記載しているという状況。
0:57:24	をご説明したかったということです。以上です。す、規制庁アキモトってそれで、これってあれなんす有効性評価って、不測の事態も当然考えた上で、
0:57:37	ていうポイントもあるし、7日間2人だけでやるんすか。
0:57:42	本当に、なるべくお前ら寝ずに新々なんすかねずにやれよっていうことなのか。
0:57:48	給油のタイミングって、多分、時間あるから、その間出ていいよみたいな感じなのか、7日9交代要員みたいなのを考えてなくて、っていうことでいいですか。
0:58:04	北海道電力古谷でございます。まず給油の最初の給油に必要な要員として二名を3時間以降参集で確保いたしますその後ですね、
0:58:16	12時間以降に、また、
0:58:21	27名ほどだったと思いますけれども
0:58:24	12時間以降も参集要員を確保していきますし、当然宮丘地区に350名ほど発電所対災害対策要員もいますし、
0:58:36	給油を実施できる、機能班の者も相当数いますので、交代要員も確保しながら、7日間対応していくということで考えてございます。以上です。
0:58:49	規制庁アキモトでそうすると一。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:53	あれですね、わかりました 12 時間以降の話はまあ、それは、
0:58:57	理解はして、
0:59:00	交代要員は一応考えているよということだと思っんですけど。
0:59:04	3 時間以内に参集可能な要員って、
0:59:09	本当に 2 人だけなんですか。
0:59:11	ちょっとそこだけんっていうかあれです、KK 等々に行ってみ、見てま すか。
0:59:21	はい北海道電力振上げず系統、柏崎さんと当人さんと確認をしてござ います。秋本さんのおっしゃる通り
0:59:33	有効性評価に必要な人数、さらにそれを十分確保できる要員を、
0:59:40	頭に三田と拘束しているということも認識してございますので少し先行 審査実績を踏まえながら
0:59:50	検討したいというふうを考えております。以上です。
0:59:55	規制庁秋本です。わかりました。とりあえず実態上は軟弱宮丘地区でし たっけ、2 誰も誰もじゃない、二名。
1:00:07	だけじゃなくて、ある程度確保はしているっていうことなんですね。そ れと理解しました。
1:00:15	はい。
1:00:24	規制庁の秋本ですそれで 18 ページですけど、
1:00:28	すいません燃料のところなんですけど、
1:00:32	燃料のところまで可搬のポンプシャーのところがパラなんですけど、
1:00:38	これで間欠的に注水した場合って書いてあって、これ、こういうのって ちょっと初めて、
1:00:45	みたいなの思ったんですけど先行事例ってあるんでしたっけ。
1:00:49	はい。青木ですけどもこちらは泊オリジナルになってたと記憶しており ます。実際に注水し続けることはありませんので、その推移をキープす るという考え方でこの記載となっております。
1:01:02	規制庁秋本です。わかりましたそれだとすると、ちょっとここをきっか り押さえていかないといけないとは思っていて、何ていうんでしょ う。
1:01:13	DG の方は最大負荷でって言って、フルフルでやる一ところ等、
1:01:20	ここは現実ベースで完結でやりやるんでいいんですけどって言って、
1:01:30	あれですね、これ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:32	今すぐに駄目っていうことは多分ないとは思ってはいるんですけど、何ていうんでしょう。有効性評価って現実時、ベストエスティメイトでやってねってなってるんで、
1:01:44	いいっちゃいいかなとは思いつつ、
1:01:48	そうすると、これ、実際の想定っていうのが、何か補足とかついてるんですけど。
1:01:55	はい。青木ですけども、こちらですね、以前からちょっと
1:02:00	苦慮してるところでして、
1:02:02	燃料の評価については添付資料をつけております。
1:02:07	そうですね今比較表をつけておりますので添付書 7.3. 1.5 をお願いします。
1:02:20	はい。こちらが燃料評価に関する資料ですけども、
1:02:26	1 ページ目、比較表の 1 ページ目に関しては従来と同じような記載で本文に書いてある記載の通りでして DG についてはフルフルであって緊対所も 7 日間保守的に見ると、それに対して可搬型を阻止ポンプ車に関しては間欠で、
1:02:41	注水しますということで、540 に対して 539.5 ってすごいぎりぎりな数字で一応評価をしてると。これに対して※2 っていうところで、補足してますけども、ちょっと見づらくて申し訳ないんですけども。
1:02:54	この評価は、DG が低角で、
1:02:58	フルフルで評価してますと。ただそれに対し想定事故 1 では、原子炉停止後に取り出された全炉心分の燃料が、
1:03:05	SA ピットに保管された想定し得る最大の熱負荷で評価している一方で、炉心には燃料が装荷されておられませんので、提示のフルフルで見る ECCS とか CV スプレイの負荷ってのは実際には発生しないと。
1:03:16	なんでこんな、540 に対しては、もっともっと余裕ができますよというような説明、また一方炉心に燃料装荷されている運転中においても、
1:03:25	実際に発生し、し得る最大負荷及び燃料協賛すると、もっと小さくなりますので余裕が層準保障生じますということで説明、他のプラントにはない。
1:03:36	説明を泊は追加しております。従来からですね、その上で 2 ページ目以降に別紙を泊はつけておまして、
1:03:44	右側にそういうところに記載方針の相違って書いてますけども、やはり貯油槽の有料 540 に対して 539.5 ということで余裕が小さいように、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:52	見えますので次もちょっと現実性や評価っていうのをここに1回記載しておきまして、
1:03:59	D Gの負荷、
1:04:01	下からですね、いろいろ算出しまして、複数次回あるんだったかな、最後、
1:04:08	ちょっと、
1:04:10	今すぐはできませんがこの中で余裕はしっかりありますよということを説明させていただいております。
1:04:20	規制庁脇本でそうするとあれですね、
1:04:27	わかりましたその別紙の中で、
1:04:33	ポンプ車って何か、
1:04:40	そうですね。だから、
1:04:43	だカラー
1:04:46	これがー。
1:04:52	まあD G。
1:04:54	ダー余裕ができれば、
1:04:58	その分余裕あるっていうことなのか。
1:07:36	規制庁アキモトですそれでは、
1:07:40	そう。その他ありますでしょうか。
1:07:47	規制庁の尾野です。
1:07:49	7.3. 1.2-24 なんですよけれども、補足ですかね、記載だけなんですよけれども、
1:07:57	これ、図2と図3の吹き出しの。
1:08:01	あれですかね。
1:08:02	内容の左側のやつって、
1:08:05	P P B、
1:08:07	Pの話じゃなくてAであってるんですけど。
1:08:11	崩壊熱の大きい。
1:08:15	はい。藤青木ですよけれどもこちら前のページから続いております23ページから参考1ということで、運転中の評価をここでしております。その中の評価条件ですけども、下の表、表1の、
1:08:30	23ページの表1の下に書いております通り、
1:08:33	二つ目のポツの下から2行目ですかね、保守的に厳しくなるの所済み燃料ピットで評価したということで従来、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:45	Aピットで評価してて今回想定事故ではBの方に見直しておりますけども、運転中に関しては
1:08:51	原子炉に近い方に置くっていうように制限を取かける必要もありませんので評価が厳しくなるの、従来通りのAのピットで評価しているところで図も、Aピットの方にこういう記載をしております。
1:09:02	規制庁です。ありがとうございます承知いたしました。
1:09:10	規制庁アキモトですちょっとまた燃料のところなんですけどちょっと考え方だけなんですけど18比較表の18ページで、
1:09:20	ディーゼル発電機燃料ゆ。
1:09:23	というそう。
1:09:25	ていうのがあってこれは、
1:09:28	DB等、県ようになっていて、さらには、何ていうんでしょうか班と、常設も使う。
1:09:38	こん時ですねエスエー
1:09:41	D。
1:09:43	こってあれですか共通要因。
1:09:47	補償みたいなのは考えなくていいっていうふうに、
1:09:52	考えているんですか。
1:09:55	ちょっと先行とか妥当少し。
1:09:59	G T G用の軽油タンクとかを設けていて、
1:10:04	共通要因故障。
1:10:06	があったとしても大丈夫っていうか、動的じゃないからいいですよっていう説明をしても、ありなのかもしれないんですけど何かそこは考えてます。
1:10:21	耐震のあるタンクですんで、故障というのは基本考えないというふうに考えてます。
1:10:43	いいです。
1:11:22	規制庁が技術比較表の本文の6ページをお願いします。
1:11:30	ちょっとさっき時間の話で夜久野話があったんですけど、一番上のところに燃料長より約7.62メートルとするってあんまり、
1:11:40	評価条件で約ってつかないのかなと思ってて、これって実際は、ミリ単位まで何かあるとかいう理由があるんでしょうか。
1:11:49	はい青木ですけども、やっぱりね、燃料調部といいましても様々な燃料の日とかもありまして一概には何とも言えないというところで薬をつけ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ております。また右単位で、て水も管理しておりますのでその辺も含めて薬をつければ適切と判断してます。
1:12:07	規制庁片桐清了解しました。あと、
1:12:10	比較表乃音ん
1:12:13	添付の 7312 の 40 ページをお願いします。
1:12:22	はい。
1:12:25	サイフォンブレーカーからの水の確認なんですけど、
1:12:30	何か器具を用いて確認しますよって話になってて、
1:12:36	その 43 ページまず、器具の図があるんですけど、
1:12:41	これで確認するっていうのは、他のプラントとかではあるんでしょうか。
1:12:51	はい、大木ですすべて岡プラントを確認したわけではないんですけど、そう、そういうプラント長あまり認識はしておりません。
1:12:57	金城加瀬議員ですねこの基部って、企業の名前はその水流確認器具っていう名前がいいんですかね。
1:13:07	はい。凍結がこちらの企業もですねこういうことで確認できるよねということ
1:13:13	確認したものでして正式にこのようなものを配備しているというものはございません。ただ普段はですね、
1:13:19	閉塞しないっていうことはこの説明で書いてある通り考えておりまして、もし閉塞が疑われる場合にはこのような器具を用いて確認は可能だということまでは確認しております。
1:13:30	規制庁で溢水量開始まで、
1:13:32	あと記載だけなんですけど 40 ページの方で、添付写真に示す通りって書いてるんですけどせっかくズバーン降ったんだから、
1:13:41	図 4 に示す通りぐらいの書き方のほうがわかりやすいのかなってのはもう大岩番号ないから、こういう書き方してるような気がするんで、
1:13:50	気合いだけですけどちょっと検討ください。はい。青木です。かしこまりました。記載する方向で検討したいと思います。
1:14:02	規制庁脇本ですそれではあとは想定事故 2 の方の今コメント回答からですかね。はい。お願いします。
1:14:31	はい。青木ですけど、想定事故 2 のヒアリングコメント回答リスト資料 3-3 に示しております。
1:14:37	ナンバー1、2、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:41	についてはすでにパワーポイントの方で説明させていただきました。No. 3は誤記の訂正だけですので、割愛させていただきます。資料4ですけれども、コメントリスト4ですけれども、定期的にと、
1:14:52	泊は定期的に1回程度、
1:14:55	%しゅんバー集というふうにしているものについては言い方が1回となっているので、記載の適正化を行いなさいということで改めて社内の運用を確認しましていいかどうかどうように定期的1回、
1:15:07	週1回という形に記載を適正化しております。
1:15:10	資料、コメント5ですけれども、最新審査実績に比べて泊の特徴的な以下の事項について補足の説明を行うことということで、
1:15:19	PWRで使用済み燃料ピットがAとBに置かれている設計思想について確認して説明することと、あと補助給水流量他の炉心損傷等でいろいろ言われてます通り、補助給水量が少ないとかPRAが高いというところに特徴ありますのでこちらについては回答概要に書いておりますけれども基本的考え方という6ポツの、
1:15:37	中で添付資料として、一般的な話ですので、整理する予定としております。こちらについては2023年3月に回答したいと思っておりますけれども、ちょっとか簡単に口頭で説明しますとですか。
1:15:54	はい。以上です。
1:15:59	規制庁秋本です。コメント回答、理解いたしました。それであともう1点、あほん比較表の10ページなんですけど、
1:16:10	10ページは、
1:16:13	あれですよ、10ページの赤、黄色になってる大井のSFPラックはありようっていうたまりは、
1:16:23	こちら先ほど想定事項のやつを説明させていただき、いただいたものと全く同じ記載をさせていただいております。これってあれですよ、どっかと一緒なんですよ。
1:16:34	そうでもないですか。
1:16:59	規制庁アキモトです。あとそれでは想定事故2つて他ありますか。
1:17:03	よろしいですか。
1:17:05	ウェブ参加の方も大丈夫そうですか。
1:17:08	はい。
1:17:08	それでは本日のヒアリングを終了にしたいと思います。お疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。